

2022年9月25日

課題名：皮下埋め込み型中心静脈ポート留置後合併症の後方視的検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、皮下埋め込み型中心静脈ポート留置後合併症を調べています。本研究では、より安全な中心静脈ポート留置およびその管理を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019年1月から2021年12月までの期間に当院においてCVポートを留置された患者さん(296名)を対象としています。

◆研究に使用される情報◆

診療録（カルテ）から患者さんの性別や年齢、CVポートの留置日、留置後早期・晚期合併症の有無の情報を収集し、研究に用います。研究は倉敷中央病院外科および腫瘍内科で行います。なお、この研究を行うことで患者さんに費用などの負担は生じません。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
外科 研究責任者 山本 嵩

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明